

## 日本・インドネシア土木技術セミナー開催報告

土木学会国際センターの活動として、平成 26 年 3 月 12 日(水)に東京土木学会講堂においてインドネシアおよび日本の専門家を招聘し、インドネシアの社会資本整備に関するセミナーを開催しました。日本側からは、官公庁、建設会社、設計コンサルタントなどから約 100 名の聴講者が訪れ、会場には椅子の追加を行う程の盛況となりました。セミナーの概要は次の通りです。

### 《日本・インドネシア土木技術セミナープログラム》

- ・開会挨拶：土木学会 橋本鋼太郎会長
- ・講演 1：「インドネシアにおける社会資本技術」インドネシア公共事業省  
ヘルマント・ダルダック副大臣（インドネシア工学会土木部門長）
- ・講演 2：「都市開発と一体化した社会資本整備」筑波大学 石田東生教授
- ・講演 3：「スンダ海峡プロジェクトと地域開発」インドネシア公共事業省道路研究所 ヘリー・バザ所長
- ・講演 4：「インドネシアの魅力と可能性（日・尼共同研究から）」国土技術政策総合研究所 酒井利夫所長
- ・閉会挨拶 土木学会 磯部雅彦次期会長
- ・司会進行：土木学会国際センター国際交流 Gr. インドネシアグループリーダー 曾根真理氏

### 1. 橋本会長からの挨拶

日本とインドネシアは、火山活動が活発で、地震が頻発するなど国土に共通の課題を有しています。また、国土はともに多くの島々からなり、長大橋梁によって国土を一体化することが求められています。

これらの課題解決に向けて、日本とインドネシアの土木技術者が協力することが望ましく、この度、ヘルマント副大臣を迎えて、成長著しいインドネシアの社会資本整備に関して土木技術者の交流が図られることは、両国にとって大変貴重な機会です。

### 2. ヘルマント副大臣の講演

インドネシアの経済成長を支えるために、社会資本整備が必要であるとの説明がありました。社会資本整備の課題としては、気候変動対策、急速な都市化への対応、経済格差の是正、地盤沈下など数多くあります。

インドネシア国内における道路、ダム、河岸堤など様々なプロジェクトについて、予算、図面、写真等を用いた説明がありました。これらプロジェクト実現のためには PPP スキームの活用が必要です。インドネシアにおいては、PPP 制度の改正等を行い強化に努めているところです。



満員の会場で講演するヘルマント副大臣

### 3. 石田教授の講演

都市の発展のためには鉄道整備と一体となった都市開発、即ち沿線開発が重要であり、阪急電鉄、東急電鉄、JR、つくばエクスプレスの取り組みを例に用いて沿線開発の実態について説明がありました。最後に、沿線開発の経験と手法を途上国の都市開発に利用していく用意があることについて説明がされました。



質疑応答中のヘリー・バザ所長

### 4. バザ所長の講演

スンダ海峡プロジェクトの課題と現状について調査結果に基づく地質の状況、火山との関係、国際航路確保の必要性などについて説明がありました。

スンダ海峡架橋は、インドネシアにとって重要なプロジェクトであり日本の長大架橋技術を必要としています。

## 5. 酒井所長の講演

日本・インドネシアの道路分野における共同研究について説明がありました。舗装、交通計測、トンネルについて共同研究を実施してきましたが、今後は道の駅についても共同研究が実施されます。



橋本会長からヘルマント副大臣  
への記念品授与

## 6. セミナー後の懇親会

セミナー後の懇親会にはインドネシアからの参加者 10 名を含む約 40 名の参加者があり、両国技術者の交流を深めることができました。

### 《感想》

総ての講演者が述べたのは、日本とインドネシアの類似性でした。これまでに蓄積してきた日本の技術をインドネシアで活かすことができれば、両国にとって意義のあるものになります。今後も両国の技術者間で様々な交流を続けることが必要であると感じました。

【記 国際センターインドネシア Gr.リーダー 曾根真理】